

野生生物保護施設緊急整備・老朽化等対策事業

2,000百万円【平成24年度補正】

自然環境局野生生物課
自然環境局自然環境計画課

1. 事業の概要

野生生物の保護・増殖、自然とのふれあいの場の整備、自然環境教育の促進等を図るため、野生生物保護の拠点施設、国指定鳥獣保護区における観察施設等における利用者の安全確保・利便性向上及び施設の機能強化を行う。

また、絶滅のおそれのある希少動植物の保護・管理、生息・生育環境の改善や繁殖等の促進を図るため、希少動物であるツシマヤマネコの野生復帰を促進する野生順化訓練施設等の設置を行う。

さらに、外来生物による生態系への被害の防止を図るため、マングースの侵入が新たに認められた地域、地域根絶が確認された地域等において、侵入を防止する柵、捕獲ワナ等の緊急設置を行う。

2. 事業計画（業務内容）

①野生生物保護センター等整備事業

野生生物保護センターの増改築・修繕、水鳥・湿地センターの修繕、鳥獣保護区管理棟の改築・修繕、世界遺産センターの修繕 等。

②絶滅のおそれのある種（ツシマヤマネコ）の野生順化関連施設整備

野生順化6ケージ：1ケージ当たり面積平均0.44ha）の整備。

③奄美・やんばる地域の外来生物（マングース）緊急防除等施設設置事業

奄美・やんばる地域におけるマングースの緊急的な防除を実施するため、侵入防止柵及びワナ設置。

3. 施策の効果

①施設利用者の安全確保・利便性向上及び施設の機能強化等。

②野生復帰予定地の対馬の下島の個体群が回復し、ツシマヤマネコの絶滅回避に繋がる。また、当該種をシンボルとした環境保全による地域振興、自然に配慮した農林業の振興等に寄与。

③沖縄やんばる地域及び奄美大島において、マングースによって深刻な影響を受けているヤンバルクイナ、アマミノクロウサギ等の絶滅危惧種の保全を推進。長期的な防除コストの縮減及び根絶までの期間の短縮に寄与。

野生生物保護施設緊急整備・老朽化等対策事業

野生生物保護センター等整備事業



雪害による屋根・天井の破損
(宮島沼水鳥・湿地センター)



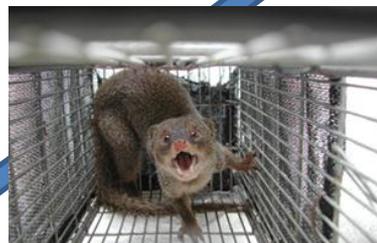
コンクリート梁の損傷
(屋久島世界遺産センター)

施設の修繕、機能強化

安全性の確保・
利便性の向上

地域の観光振興・
経済活性化

絶滅のおそれのある種(ツシマヤマネコ)の野生順化関連施設整備事業



捕獲されたマングース



侵入防止柵の例
(沖縄県が設置した北上防止柵)



新たな侵入地域等で
侵入防止・緊急防除

奄美・やんばる地域の外来生物(マングース)緊急防除等施設設置事業